

MPT	農家1	農家2	農家3	農家4
実施前	107±10日	128±25日	101±10日	123±9日
実施後	72±13日	92±27日	59±11日	95±13日

▲改善指導前後
の分娩から受胎
までの平均日数

黒毛和種雌牛の繁殖成績
独自基準で指導し改善



BCSを確認する

現場で使える！研究成果

県では黒毛和種繁殖雌牛における繁殖成績の改善（分娩間隔の短縮）をめざし、代謝プロファイルテスト（MPT）に基

づく飼養管理改善指導に取り組んでいる。
MPTは牛群の血液成分値とボディコンディションスコア（BCS）などの外貌から牛群の栄養状態を評価する技術。調査項目ごとに定められた基準値を目標に、飼料設

計の改善を図ることによって繁殖成績を改善できる。
今回、県内繁殖牛群に適合した基準値を得るため、県内9戸の繁殖成績が良好な優良農場で飼養されている、延べ211頭の黒毛和種繁殖雌牛（平均分娩間隔345±14日、平均年齢5・6±2・2歳）の血液成分10項目とBCSなど3項目を調査、これらの平均値を「長崎型MPT基準値」として設定した。
この新たな基準値を用いて県内の繁殖成績が振るわない農場で「三」を実施し、飼料設計の見直しなどの改善指導を行ったところ、農場牛群で血液成分値やBCSが改善し、分娩から受胎までの日数を短縮できる「表」ことを確認した。
（県農林技術開発センター 畜産研究部門 大家畜研究室 谷山敦）